

こみち BS小路

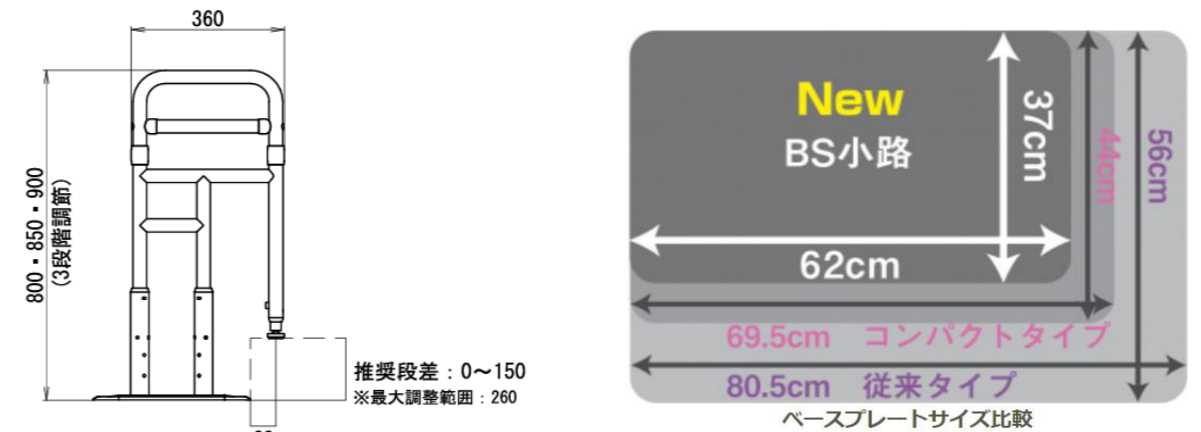
場所を取らず、狭いスペースでも設置しやすく動線確保も○

“あとちょっと”で置けなかった場所にも…
あなたの“ここにあれば”に合わせて選べる手すりはです。



左に設置 中央に設置 右に設置

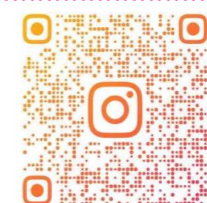
手すりの取付位置をベースプレートの左右・中央部よりお選びいただけます。
従来のコンパクトタイプよりも更にコンパクトに！



今まで設置が難しかった
小さな玄関にも
スペースを気にせず
設置できます。



新アカウントQRコード



@HUKUSIYOUGUSELECT

Instagramで
各種情報提供しています。

株式会社 **セレクト**

セレクト通信 新号

日増しに暖かくなり春のポカポカ陽気が心地よく感じる季節となってきましたね。皆様はいいがお過ごしでしょうか？日々元気に過ごすごですか。先日、3年ぶりに故郷の1つ上の姉が突然遊びに来ました。是非、京都を観光して見たいと言うので宇治平等院・伏見稲荷大社・錦市場・嵐山と張り切って案内するつもりでしたが、歩くのが億劫で、どれもこれも中途半端な観光となり体力の無さを露呈してしまいました。久しぶりに行った京都市内は平日にも関わらず、たくさん観光客で、特に、錦市場は人を掻き分けて歩くほどの賑わいです。中国の方が減ったと言われているが円安の影響か、その分、国籍はわかりませんが西洋の方が非常に多かった印象です。食歩きの飲食店は何処もインバウンド価格で日本人なら!?と思ってしまう価格帯で統一されているように思いました。錦市場は京庶民の食の台所と言いますが、ちよつと!?一般庶民が日常的に利用出来る場所では無くなり、外国人観光客をターゲットにした観光地が変わってしまったようです。ただ錦市場ほどではありませんが、日本の物価もここ数年、輸入物品の値上がりや買上げの影響を受けて、どんどん上がっている。特に生活に直結する食料品や日用品と言った無いと生活出来ない物の値上げは著しく、年金生活をしている高齢者に

は堪ったものでは無いかと思えます。一向に下がらない米の価格だけでも何とか成らないかと思えます。また身近な社会問題では、既にピークに近づいている2040年問題で65歳以上の高齢者が全人口の35%とピークに達する反面、15歳〜64歳の生産年齢が歴史的に減少し過去最低となる見込みです。元気な高齢者にはドンドン仕事をし頂ぎ、外国人労働者もドンドン受け入れていかないと介護現場は特に回らなくなります。福祉用具業界でも介護負担や介護者不足を解消するための介護機器や介護ロボットの開発が急ピッチで進められていますが、まだまだ将来を担う用途には程遠く、まだまだ努力が必要な段階です。ただ自立を支援する、出来なかったことを少しでも出来るようにする、介護者の負担を軽減すると言った点では確実に年々進歩しています。また、転倒し大怪我をする、その後更に介護が必要になると言ったりリスクを軽減するための福祉用具も更に充実しています。福祉用具や福祉住環境整備で更に社会貢献出来るよう今後も更に精進してまいります。是非、弊社の担当福祉用具専門相談員へご相談ください。

代表取締役
櫻庭 辰男



福祉用具「選択制」の効果検証 岡山支店 小田 直史



選択制対象用具の購入選択割合

種目	期間	対象者数	購入を選択した割合
固定用スロープ	2024年度	124,420人	15.2%
	2025年度4~6月	52,099人	7.5%
歩行器	2024年度	117,191人	1.6%
	2025年度4~6月	54,436人	1.2%
単点杖	2024年度	20,534人	5.5%
	2025年度4~6月	9,130人	2.9%
多点杖	2024年度	139,773人	9.5%
	2025年度4~6月	65,638人	4.9%

導入後も貸与選択が大半
2024年度の介護報酬改定で導入された、福祉用具の「貸与と販売の選択制」の検証結果が明らかになりました。24年度の選択率は固定用スロープの15.2%が最も高く、多点杖9.5%、単点杖5.5%、歩行器は1.6%と差がみられたものの、いづれの種類においても利用者の8割〜9割以上が貸与を選択している事が解った。さらに25年4〜6月には、固定用スロープ7.5%、多点杖4.9%などいすれも購入割合は減少している。購入を選択した理由で最も多かったのは「長期利用が予想されるため」(各種目で38.2%、43.5%)だったが、購入後に身体機能の低下などを理由に使用を取りやめるケースも歩行器で6.4%あった。その為、給付費に大きな変動は見られなかった。また、選択制の対象商品拡大については「特になし」の事が最も多く対象拡大を求める声は一部に留まっている。

子供の成長 本社 山本 勝則

最近では暖かい日が増え、春の訪れを感じる季節になりました。新しい年度に向けて気持ちを整えるには、ちょうど良い時期でしょうか。わが家では、子どもが習い事(水泳)の練習にますます熱心に取り組むようになりました。最近では「できるようになったところを見てほしい」と一緒にお風呂に入浴した時に披露してくれるのですが、その一生涯懸命な姿にこちらもうまうまいかと思ったり、あるようですが、少しずつ成長していく様子を見ると、継続することの大切さを改めて感じさせられます。子どもの姿を見てみると、楽しみながら続けることの強さを改めて感じます。小さな積み重ねでも、大きな変化につながるのだと、日々教えられているようです。私自身もその姿勢を見習い、日々業務を楽しみながら続けて、より良いサービスを提供出来るよう努めてまいります。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。



